専修大学附属高等学校 季刊だより

Buddy!

★バディ!

クラブ活動特集
最新情報&運動部座談会

生徒会活動報告
被災地研修in福島・宮城

国際交流
語学研修レポート

Teacher's VOICE
新任教員紹介

特集 年間行事レポート
文化祭&体育祭
（いずみ祭）

専大附属ニュース
No.75
平成28年11月5日

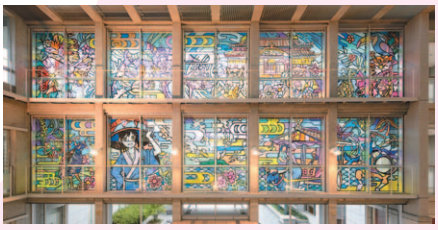
専修大学附属高等学校
広 報 部
東京都杉並区和泉4-4-1
TEL.03-3322-7171
FAX.03-3322-9043
http://www.senshu-u-h.ed.jp/

事報告

文化祭（いずみ祭）

2016年9月17日(土)・18日(日)

来校者約2,800人



【エントランス装飾ステンドグラス】 原画デザイン：T さん

おいしく出来ました！
屋上コートで待ってまーす！

【パンフレット表紙】 Y くん

【パンフレット裏表紙】 M さん

【ポスター】 E さん

各クラス出店リスト

1-A 英ステ！
1-B 美ーgirls
1-C We are the 1C
1-D オレだけ男子！？
1-E Don't stop dancing!!
1-F しろゆき姫
1-G 紫ずきん
1-H 劇ダンH
1-I 学園天国
1-J ロミ子とジュリ男
1-K Kステ

2-A 廃病院 A棟
2-B 米バチのハニーフェスティバル
2-C SMC44(Senshu Maze Creator 44)
2-D コーヒーカップル
2-E Close Jungle ～閉ざされた森～
2-F 神向寺
2-G 安岡ファクトリー
2-H 和也の間
2-I ゴーストマニア
2-J Jじゃないか(ジェットコースター)

3-A ケバブ
3-B お好み焼き
3-C はしまき
3-D フレンチトースト
3-E チュロス
3-F 何でもたこ焼き
3-G ぎょうざ
3-H 揚げパン
3-I トルティーヤ
3-J 餅

クラス出店

1年生は劇やダンス、2年生はアトラクション、3年生は飲食店を出店。
皆で協力した結果、どの催しも大盛況で
クラスの絆がさらに深まりました！

有志団体発表

運動部のデモンストレーションや文化部の展示発表では日頃の活動の成果を披露しました。

中夜祭

ダンスやバンド演奏、コントなど、
様々な催しで盛り上がりました。

毎年恒例のいずみ祭が、**"Laugh Together Everyone" ～つながりやすさNo.1～** をテーマに今年も盛大に行われました。
各クラスはもちろんクラブによる発表や杉並和泉学園の和太鼓など、様々な「魅せる」発表も大盛況でした。有志による「中夜祭」は体育館満員御礼の中、熱いステージとなりました。
なお、食店の売り上げの一部と東北物産展の売り上げは「みちのく未来基金」へ寄付いたします。

特集

体育祭

2016年10月19日(水)

in アミノバイタルフィールド

専大附属の文化祭、体育祭ではクラスごとにデザインしたTシャツを着て臨みます。
皆で考え、皆で揃えたTシャツは、生徒たちにとって大切な思い出の品になります。

開会式。今年もまた熱い戦いが始まります。

白熱の戦いが繰り広げられ、
応援にも力が入ります。

棒引き、40人41脚、
ムカデリレー、騎馬戦、
部活対抗リレーなど、
全11種目の競技で競い合いました。

10月19日(水)、調布市のアミノバイタルフィールドで第5回体育祭が実施されました。10月とは思えないほどの暑さの中、体育祭は各クラスによる気合の入った円陣から始まりました。クラスメイトの元気な声援により、全11種目でクラスTシャツを身に纏った生徒たちの躍動する姿が見られました。また、1～3年生の縦割りのクラスで争われるため、他学年を応援する姿など、普段見ることのできない光景もたくさん見ることができました。

「生徒の、生徒たちによる、生徒のための体育祭」

これは閉会式での校長先生の言葉です。生徒会執行部と体育祭実行委員を中心とした円滑な運営と生徒の積極的な参加により、無事に終えることができました！！

結果発表！

第1位 G組 (416点)

第2位 A組 (350点)

第3位 D組 (340点)

クラブ活動特集①

クラブ最新情報

サッカー部、ゴルフ部、吹奏楽部、チアリーディング部、料理部の５クラブを紹介します。

表紙 Pick Up!

サッカー部

『感謝・謙虚・向上』の部訓のもと技術向上だけではなく、５年後、10年後に社会で活躍できる人材の育成を目指し、活動しています。
基本的な練習が多くなりますが、土日や長期休暇の時には対外試合を行い、チーム力の向上に努めています。

部長

Ｓくん

僕たちサッカー部は、７８人の部員と、中村先生、柴田先生、長谷川先生、横田コーチ、新井コーチと一緒に活動しています。秋の新人戦、夏のインターハイ、そして冬の全国高校サッカー選手権に向け、全国大会出場を目標にして日々練習に励んでいます。きつい練習もありますが、チームみんなで声を出して、厳しくも楽しく取り組んでいます。チームの特徴は攻守の切り替えを早くし、相手に走り負けないサッカーをすることです。新人戦、インターハイ予選では都大会出場を逃し、その悔しさをバネに必死に練習をしました。全国高校サッカー選手権予選では一次予選を勝ち抜き、２年ぶりに二次予選に進出し、東京都Bブロックベスト８まで勝ち進んでいます。

マネージャー

Ｋさん

グラウンドでアップを始める皆を見ると「今日が最後になるのかなあ」と思う日が今年は何度もありました。そんな気持ちとは裏腹に試合は勝ち進んでいきました。試合に勝つと、メンバーと一緒に横一列になって手を繋ぎ応援席に向かって走ります。これは代々専修サッカー部が受け継いでいる伝統で、私はこの瞬間が大好きです。私はマネージャーなので選手のようにピッチに立ってプレーすることはできませんが、仲間として皆に受け入れてもらえることはとても嬉しいことです。引退してからもずっと皆のマネージャーでありたいです。

昨年・今年度の主な実績

- 平成27年度地区新人選手権（5地区）
  第3位
- 第95回全国高校サッカー選手権大会
  東京都2次予選 Bブロックベスト8

こんにちは。サッカー部には毎年多くの生徒が入部してくれますが、本校の施設は整っているとは言えません。しかし、その中で「勝つために何をすべきか?」ということを問いかけながら日々の活動を行うことで選手は成長し、大会等では私たちの想像を超えるパフォーマンスを見せてくれます。
本校の生徒はサッカー部員に限らず、優しい子が多いと感じます。優しさは自分に向いたときに「甘さ」となって表れる場合があります。限界を決めずに自分の能力を信じ、伸ばし続ける術を身につけてもらいたいと思います。その為に私たちも全力でサポートし、共に成長していきたいと考えております。

監督　中村　圭介先生

ゴルフ部

１９７５年の創部以来、「審判が立ち会わない」というゴルフ競技の特徴を体現すべく、生徒の自主性と部員間のコミュニケーションを尊重しています。主な活動は、学校での基礎トレーニングと外部施設での練習です。「関東大会常連校」を合言葉に、日々の練習に勤しんでいます。

顧問

上山 和宏 先生

顧問になって8年。関東大会団体戦出場、全国大会出場という快挙に立ち会えたことに対し、この上ない喜びを感じています。ゴルフ未経験の私を未知の世界に導き、新たな体験の場を与えてくれた部員たちに感謝。成長著しい我がゴルフ部の更なる成長とそれを支える部員の活躍を、一顧問として心から応援しています。

部長

Ｔくん

今年は2年連続で団体戦関東大会出場を果たし、個人戦では全国大会にも出場するなど、年々実力を付けてきています。
今後は、秋季大会での関東大会出場、来年の春季大会での3年連続団体戦関東大会出場、そして全国大会出場を目標に、日々努力しています。

今年度の主な実績

- 関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会　男子決勝大会「団体の部」に出場
- 関東高等学校ゴルフ選手権夏季大会　男子決勝大会「個人の部」に3名出場
- 全国高等学校ゴルフ選手権大会　「個人の部」に1名出場

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は、３年生２０人、２年生１４人、１年生２５人で活動しています。
顧問の平木先生、井上先生、野田先生、技術指導の坂本先生のもと、コンクールや演奏会に向けて練習しています。また、外部コーチによる基礎合奏やパートレッスンもあり、技術を向上させる機会がたくさんあります。

今年度からファゴットとオーボエが加わり、夏のコンクールではA組とC組両方に出場しました。今はアンサンブルコンテストや3月24日に行われる定期演奏会に向け、日々の積み重ねを大事にし、学業をおろそかにせず練習に励んでいます。多くの方々に私たちの演奏を聴いて頂けると嬉しいです。

部長

Ｎさん

昨年・今年度の主な実績

- 第56回東京都高等学校吹奏楽コンクール
  A組 金賞、C組 銀賞
- 2015TAMAアンサンブルフェスティバル
  金管十重奏 金賞、管楽八重奏 銀賞
- 第39回東京都高等学校アンサンブルコンテスト
  打楽器三重奏 銀賞、木管八重奏 銀賞

チアリーディング部

技術だけでなく、団体競技としての活動を通して、上下関係の大切さや仲間との協調性など、社会で生きていくために必要なことを多く学ぶことができます。部員のほとんどが初心者ですが、皆で切磋琢磨しながら、技術力をつけ、大会へ出場しています。「やる気」と「根性」、そして「強い心」があれば、必ず実を結ぶことができるスポーツです。

文化祭で3年生が引退し、2年生を中心とした新体制となり、毎日元気に楽しく活動しています！8月のJapanCupでは、沢山の方が支えて下さり、去年より良い成績（準決勝進出）を残すことができました。応援して下さった皆さん、ありがとうございました！練習で辛いことがあっても、大会で得られる達成感は一生の宝物になります。今は冬の大会に向けて一生懸命頑張っています。

キャプテン

Ｔさん

昨年・今年度の主な実績

- JAPANCUP2016 チアリーディング日本選手権大会
  準決勝進出
- 第26回チアリーディング高等学校選手権大会（2015年）
  準決勝進出

料理部

料理部では、その年の目標を決め、それに向けて日々活動しています。
例年、いずみ祭ではアップルパイを販売しており、今年は１８００個売り上げました。
先輩・後輩みんな仲の良いクラブなので料理の技術だけではなく、友情も深めることができます。

私たち料理部は普段の実習や学習会だけでなく、夏には自然豊かな場所で合宿を行い、そこでしか味わえない貴重な体験をさせていただいたり、年末には本格的な「おせち」料理つくりなどの季節感溢れる料理に挑戦したりしています。活動は週2回しかありませんが、中身の濃い楽しい部活です。

部長

Ｋさん

クラブ活動特集②

運動部座談会

（インタビュアー 長谷川 航大 先生）

ラグビー部、男子バスケットボール部、ダンス部、女子ソフトテニス部の各クラブで部長を務めた３年生の皆さんに部を引退した今、クラブでの思い出や後輩へのメッセージを語ってもらいました。

長：それでは、よろしくお願いします。早速ですが、３年間のクラブ活動を終えた感想から聞かせてください。

U：ラグビーは体力的にも精神的にも辛いスポーツですが、辛さよりも楽しかったことの方が大きいです。ラグビーは皆でやるスポーツなので、いろんな人がいる中で、皆と力を合わせてやって行く所に充実感がありました。

I：すごくキツくて長かったけど、終わってみたら自分の財産になったものがたくさんありました。

長：その財産とは?

I：協調性が身についたことや部長を務めた経験など、社会に出てからも役立つ、大切なことを学べたことです。

T：僕は毎日バスケをやれてとにかく楽しかったです。

長：仲間との関係はどうでしたか?

T：仲間にも恵まれてたと思います。後輩もきちんとついてきてくれてとても助かりました。

A：私は今までで一番濃い３年間が送れました。大変なことの方が多かったけど、悩んだり考えたりすることが、今ではすごく楽しい時間だったと感じます。

長：特に大変だったことは何ですか?

A：部長になって、最初は先生についていくのがとても大変でした。でも先生と話していく内に、私と先生とで作りたいチームを作っていくことができました。

長：では次の質問です。入部理由を聞かせてください。

U：どの部に入ろうか考えていた所、ラグビー部の存在を知りました。名前以外はまったく知らない競技だったので、ネットで色々と調べてみたら自分もやりたくなりました。

長：今ラグビー人気が高まってますよね。何か思う所は?

上：そうですね、ワールドカップが終わってからはクラスメイトからラグビーについて質問されることが増えました。

長:ではAさん、ダンス部にはずっと憧れがあったとか?

A：はい。子供のころからずっとダンスをやっていて、文化祭や新入生歓迎会の時に先輩方が踊っているのを見て、格好いいな、私もやりたいな、と思い入部しました。

長：ではIさんは?ずっとテニスをやってたんですか?

I：はい。高校で続けるかは決めてなかったんですけど…でも中学でクラブ見学に来た時に先生のしっかりとした指導できちんと活動をしていたので入部を決めました。

長：Aさんが見た文化祭も、中学の時に?

A：はい。中学の頃、文化祭を見に来ました。

T：僕も中学の時に試合を見学に来て、早い展開のプレイスタイルが格好よくて、自分もこのチームの一員としてプレイしたいと思って入部しました。

長：やっぱりクラブ見学会って大事なんだなあ。それでは次に、３年間で一番辛かったことは何ですか?

U：身体を強く大きくしないといけなかったので、筋トレをしたり食事もたくさん取ったりと自分を追い込む感じで、それが大変でした。でもそれもまた充実した毎日でした。

長：身体作りというと、プロテインを飲んだりも?

U：はい、朝の筋トレ後と放課後の練習の後に飲んでました。今はやめて、ダイエットしてますけど（笑）

A：私は、キャプテンになりたてだった頃、毎日先生に同じ注意を受けたこと、どうしても上手くできずに同じ失敗をして、同じことを言わせてしまったことが辛かったです。

I：私も、自分たちの代になって先生と話す機会が増えたけど、その分責任も増えて、何度も怒られました。

長：２人とも先生にたくさん鍛えてもらったんですね。Tくんの辛かった思い出は?

T：ずっと目標にしていた関東大会の出場を決める試合で逆転負けをした時がすごく悔しかったです。

長：それは本当に悔しいですね…では逆にポジティブな話題を。一番嬉しかったことは?新井さんからどうぞ。

A：さっきの続きになるんですけど、失敗を重ねていく内にだんだんとどうすれば良いかがわかってきて、先生との会話もチームの将来のビジョンといった楽しい話題が徐々に増えていったことが嬉しかったです。

I：私は最後の団体戦の試合で、選手も控えの部員も今まで以上に一生懸命応援していた時、３年間で築いたチームのまとまりを感じられたことです。

U：ラグビーはあまりメジャーではないから見に来る人も少なかったんですけど、最後の試合は見に来てくれる人が多くて、それが力になったし嬉しかったです。

長：専大附属は皆、どのクラブにも応援に行きますよね。これは良い文化だと思います。

T：僕は国体の候補になれたことが嬉しかったです。最終的には入れなかったんですけど、そこまでいけたことや上手い人たちと一緒にプレイできて楽しかったです。

長：国体候補とは凄いですね!それでは皆さん、部長を務めてみて、部員をまとめる上で苦労した事はありますか?

U：苦労ではないですが、自分は部長だからといって上からものを言うのではなく、部員全員の意見を聞いていくことを心掛けていました。

I：私は、部長になってから先生との会話も増えたので、これからの部をどうしていくか、部員の意見も伝えながらチーム作りをしたり、大会が近くない日の練習でも部員のモチベーションが下がらないように意識しました。

T：バスケ部は部員が多くてまとめるのが大変でした。勝てるチームを作りたかったので、個々の気持ちにムラが出ないよう、「一緒に頑張ろう!」と常に皆に声をかけてました。

A：チームを動かす時、自分が一番チームの軸をしっかり保っていないといけないので、その責任の大きさは感じていました。私はそんなに意志が強くないから、弱い気持ちに流されないように自分をしっかり持っておかないと。

長：自分は、持ってないなあ（笑）やはり「立場が人間を作る」んですね。では次に、３年間で頭に浮かぶ印象的な瞬間は?

I：ダブルスの予選で先生やコーチが入れなかった時があったんですけど、頑張って勝ち残って全国私学の枠を取ることができたことが印象的でした。

T：僕は、先輩たちが引退した時に、明日から自分の代なんだ、と実感したことが強く印象に残っています。

A：Bチームの大会でAチームの皆が振り付けや構成を見てあげたり、１年生も遅くまで練習につきあってくれて、大会で優勝した時には皆で一斉に喜んで泣きました。皆の気持ちが一つになったと強く感じた瞬間でした。

U：引退の時、部員の皆から感謝の言葉をもらったことです。キャプテンをやっていて辛いこともたくさんあったけど、やっていて良かったと思いました。

長：皆さん本当に良い経験をしてますね。それでは顧問の先生との思い出があれば聞かせてもらえますか?

T：練習後、先生のいる教官室に部長が話を聞きに行く時間があって、そこで質問に丁寧に答えてくれたり、チームのまとめ方についてアドバイスをくださったりして、その毎日の時間が良い思い出です。これは部長の自分しか経験できなかったことなので、かけがえのない時間だと思います。

A：私は、夏の予選で全国大会の枠に入れた時、先生も一緒に泣いて喜んでくれたことが良い思い出です。

I：私も泣きネタなんですけど（笑）、引退する日に、絶対泣かないと言っていた先生を泣かせようと、皆でメッセージ入りのアルバムを作ってプレゼントしたら先生が大泣きしたことが印象的です。先生の泣き顔を皆で写真に撮りました（笑）

長：それは是非、今度見せてください（笑）ではUくん、最後お願いします。

U：大会前日に行うミーティングで、先生が一人ひとりに声をかけてくれるんですが、ちょうどその時、自分は部長として悩んでいた時期で、それを見透かしたように「自信を持ってやりなさい」と言ってくれて。そこで初めて自分が自信をなくしていたことを自覚しました。その言葉で気付けたから、次の日は自信を持つことを意識して試合に臨むことができました。

長：やっぱり先生は皆の事をちゃんと見てるんですね。それでは最後に、後輩へのメッセージをお願いします。

A：どんな時でもその時の自分にでき得るパーフェクトを心掛けてほしいと思います。上手く行かない時は逃げたくなったりするけど、上手く行かない時もその時なりの頑張り方があると思うし、仲間も支えてくれるはずだから。そこで気付いたり学ぶことがきっとあるから、毎日を無駄にせず過ごしてほしいです。

T：勝ちにこだわる部、皆で楽しみたい部、目的はそれぞれあって、どちらが正しいっていうのはないと思うけれど、いずれを選ぶにしても部としては意識を統一してやっていけたら部活がもっと楽しくなると思います。

I：先生に怒られて悩んだり、嫌になったり、わからなくなったりすることがたくさんあると思うけれど、先生が部員に対して怒るのはそれだけ真剣で、上手くなってもらいたいという気持ちからなので、それを信じて最後まで頑張ってほしいです。

U：３年間で辞めたいと思ったことは何度もありました。特に自信をなくした時は何度も。そこから立ち直るためには、絶対に辞めないことです。辞めたいと思ってもたぶん自分は本当に辞めることはできなかったと思います。辛くても一度自分が決めた道だからとにかく最後までやり通そう、と。そうすれば見えてくるものがきっとあると思います。

長：長い時間、どうもありがとうございました。皆さん３年間お疲れ様でした。大学に行っても頑張ってください!

Teacher's VOICE

第１声「新任教員紹介」

今号から「教員の今の声」をお届けする新企画がスタートします。
初回は、４月から専大附属の教員に仲間入りした２人の先生に注目！

私自身も日々精進しています。

国語科教諭　奥田　哲平先生

今年度より専大附属に着任しました、国語科の奥田哲平と申します。1年生の古典と3年生の国語表現の授業を担当しています。毎日生徒の明るく元気な姿を見るにつけて、私自身も充実した日々を送っています。
私が教員を志したきっかけは、中学校３年生までさかのぼります。当時通っていた塾の講師の方の影響を受け教職に興味を持ち、以降一度もぶれることなく教員を志望してきました。教壇に立つ立場となり、これまで抱いていた教育観は常日頃更新され続けています。
受験勉強に縛られないからこそ生まれる「ゆとり」を最大限に生かして、様々なことに果敢に挑戦し続ける本校生徒の一助になれるよう精進したいと考えています。

生徒を全力で支えます！

英語科教諭　野本　拓先生

初めまして。野本拓と申します。4月からこの専大附属にやってきました。担当は英語で、今年度は主に1年生に教えております。また、クラス担任もさせていただき、非常に充実した日々を過ごしております。
教員になろうと決心したのは大学時代でした。きっかけはフリースクールでのボランティアです。漠然とした教員への憧れから始めたものでしたが、そこで不登校の子どもたちと接するうちに、教員になりたいと強く思うようになりました。
生徒も先生もみんなが楽しそうに過ごしているこの専大附属はとても素敵な学校だと感じます。ここでみなさんが安心して学校生活を送れるように全力で支えていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。

平成29年度　専修大学附属高等学校　入試要項　学校説明会

平成29年度　入試要項

	推薦入試	一般入試
募集人員	200名(男子130・女子70)	200名(男子130・女子70)
選抜方法(入試科目等)	面接・書類審査	英語・数学・国語・面接・調査書審査
願書受付	1月16日(月)・17日(火)	1月25日(水)～2月6日(月)
入学試験日	1月22日(日)	2月10日(金)
合格発表日	1月23日(月)	2月12日(日)

学校説明会

説明会当日は、平成29年度の入試要項、進路・学校生活などについて詳しくご説明致します。大学の付属高校ならではの、のびのびした学校生活を、皆さんものぞいてみませんか？ご来校をお待ちしております！

日程
・11月19日(土)
・12月　3日(土)

いずれも午後2時より
ご予約不要
入試相談コーナー設置

★当日のスケジュール(要Web予約)

第3回　11/19(土)
●入試解説：国語／英語／数学
●ダンス部によるオープニングセレモニー

第4回　12/3(土)
●入試解説：国語／英語／数学
●吹奏楽部によるオープニングセレモニー

被災地研修 in 福島・宮城

今回お世話になった農家民宿「いちばん星」にて。

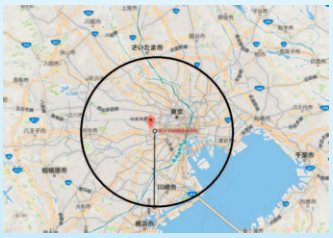
この夏、生徒会執行部は福島県・宮城県の復興状況視察研修のため、現地に赴きました。その時の模様をレポートします。

活動レポート

Mくん

私たち生徒会執行部は７月２１日、２２日に東日本大震災で被害を受けた福島県、宮城県に行きました。
今回の研修で1番印象に残ったのは福島第一原発の警戒区域内の悲惨な姿を見たことです。そこは更地ではなく半壊したままの家が残されており、被災当時のままの荒廃した状況が広がっていました。

福島第一原発の警戒区域で半壊したままの建物。
その凄惨な光景に、改めて震災の恐ろしさを感じました。


福島第一原発の警戒区域は「半径20km」。
本校を中心に当てはめてみるとその広さに驚きます。

警戒区域とは福島第一原発から半径20km範囲のことです。この広さは、専大附属を中心にすると新宿や渋谷、川崎を含む東京の東側を囲うくらいの広さです。これだけ広い土地があんな状態のままになっている現状を知り、ゾッとしました。

私は訪れたことで初めて現状を知ることができ、同じ日本人として知るべきことだと思いました。私たちと同世代の人たちは地元を離れ厳しい日々を過ごしています。これを読んでいる皆さんにはこれをただ読むだけではなく、何か感じてほしいと思います。そして、ぜひ被災地に行き、自分の目で現状を見てほしいと思います。

活動報告 生徒会 国際交流

Finished! Hop!

- **夏期オーストラリア語学研修**
  2016.7.26～8.8

現地小学校にて

- **夏期韓国研修旅行**
  2016.8.19～8.23

熙政堂にて

Now! Step!

- **ニュージーランド中期語学研修**
  2016.8.6~10.23
- **カナダ中期語学研修**
  2016.8.7~11.27

Coming soon! Jump!

- **韓国語学研修**
  2017.1.31～2.22
- **ニュージーランド語学研修**
  2017.2.4～3.5
- **アメリカ短期交換留学**
  2017.3.20～3.31

体験記 in Australia

Nさん

はじめの３日間はホストファミリーの会話が聞き取れず、早く帰りたいと思っていましたが、辞書を使って会話ができたり一緒に何かを共感できる時間が増えたりしていくにつれ、ホームステイを楽しめるようになりました。頭で考えた英語を相手に伝える難しさやホストファミリーの優しさを実感し、様々なものを得られた２週間だったと思います。

体験記 in Canada

Oさん

ホストファミリーはとても親切で、「何かあればすぐに言ってね」と優しく接してくれるので、カナダの生活をとても楽しんでいます。８月末からはブラジルからの留学生とも友達になり、英語力が確実に伸びてきていると先生方からもほめられることが増えました。高校では音楽についての２つのクラブ（『music band club』と『choir club（聖歌隊）』）に入っており、毎日が充実しています。帰国まであともう少し、最後まで全力で頑張ります！

編集後記

第７５号をお届けします。投稿して頂いた皆様、ありがとうございました。
今回は文化祭と体育祭の二大行事を特集しました。活発に取り組む生徒の様子が伝われば幸いです。引退した３年生の「運動部座談会」は、生徒の本音？を訊くことができ、大いに盛り上がりました。

■お問い合わせ先
専修大学附属高等学校
〒168-0063　東京都杉並区和泉4-4-1
TEL.03-3322-7171　FAX.03-3322-9043
URL http://www.senshu-u-h.ed.jp/
MAIL nyuushi@senshu-u-h.ed.jp